

令和6年2月 雲仙市定例記者会見 次第

令和6年2月19日（月）午前10時

吾妻町ふるさと会館 研修室1

1 令和6年第1回雲仙市議会定例会提出議案について（別綴り）

2 市からのお知らせ

- （1）国立公園「雲仙」指定90周年記念事業について
別紙（資料No.8）
- （2）令和6年3月～4月の主要行事予定について
別紙（資料No.9）

3 質疑応答

○配付資料○

- 資料No.1 令和6年第1回雲仙市議会定例会提出議案について
- 資料No.2 提出議案（概要）
- 資料No.3 議案
- 資料No.4 提出議案参考資料（その1）
- 資料No.5 提出議案参考資料（その2）
- 資料No.6 市長発言 要旨
- 資料No.7 施政方針（素案）
- 資料No.8 国立公園「雲仙」指定90周年記念事業について
- 資料No.9 令和6年3月～4月の行事予定

報道資料

令和6年2月19日

報道機関各位

担当課	観光商工部 観光物産課
担当者	課長 林田 幸一
電話	0957-47-7834
FAX	0957-38-3205

「国立公園「雲仙」指定90周年記念事業」について ストーリーで紡ぐ雲仙～振り返り、守り、活かす～

〔背景〕

国立公園「雲仙」は令和6年3月16日で指定90周年を迎えます。

この機会をとらえ、これまでの歴史を振り返るとともに国立公園指定100周年に向けた取り組みとなるよう雲仙市として各種イベント等を実施します。

〔内容〕

○主要なテーマ

- ①雲仙地域における国立公園指定90年の歴史
 - ②ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト
 - ③雲仙地獄の価値の再認識、日本全国及び世界への発信（地獄フォーラム）
- その他取組
- ④ゼロカーボンパーク登録及び推進

※事業の詳細は、別紙資料のとおり

国立公園「雲仙」指定90周年記念事業（案）について
（国立公園振興事業）

令和6年2月

雲仙市





国立公園「雲仙」指定90周年記念事業（案）について

【背景】

- 日本の国立公園は自然の日本代表であり、加えて地域の文化、暮らしも含まれることが特徴。
- 国立公園は保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図るもの。
- 市民は「お山雲仙」の恩恵を受け、共に暮らし、風土が形成されてきた。
- 雲仙地域は昭和9年に我が国最初の国立公園の一つとして誕生し、令和6年3月16日で指定90年を迎える。
- この機会を契機ととらえ、これまでの歴史を振り返るとともに国立公園指定100周年に向けた取組となるよう雲仙市として各種イベント等を開催する。

【雲仙の課題】

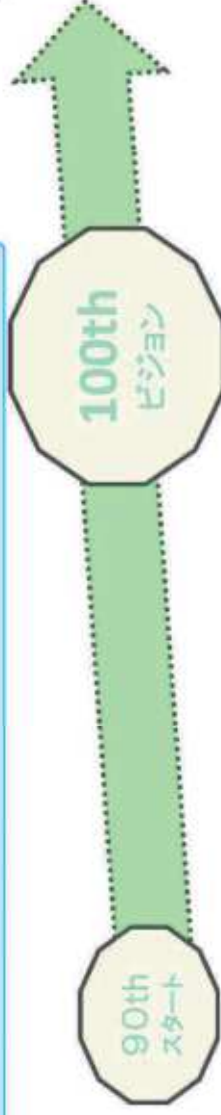
- 国立公園の自然・歴史を含めた魅力の共有、発信不足。
- 国立公園の維持管理を担う人材及び資金不足。
- 体験アクティビティ、ガイド不足。
- 施設の一部老朽化、眺望景観の悪化等。



○これら課題を解決しつつ、国立公園100周年へ向けたスタートとなるよう、主要な3つのテーマを中心に4つの関連した事業を実施。



雲仙普賢岳山頂





国立公園「雲仙」指定90周年記念事業（案）について

○ストーリーで紡ぐ雲仙～振り返り、守り、活かす～
【主要な3つのテーマ】

1. 雲仙地域における国立公園指定90年の歴史
2. ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト
3. 雲仙地獄の価値の再認識、日本全国及び世界への発信（地獄フォーラム）
【その他取組】
4. ゼロカーボンパーク登録及び推進



雲仙地域における国立公園指定
90年の歴史



ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト



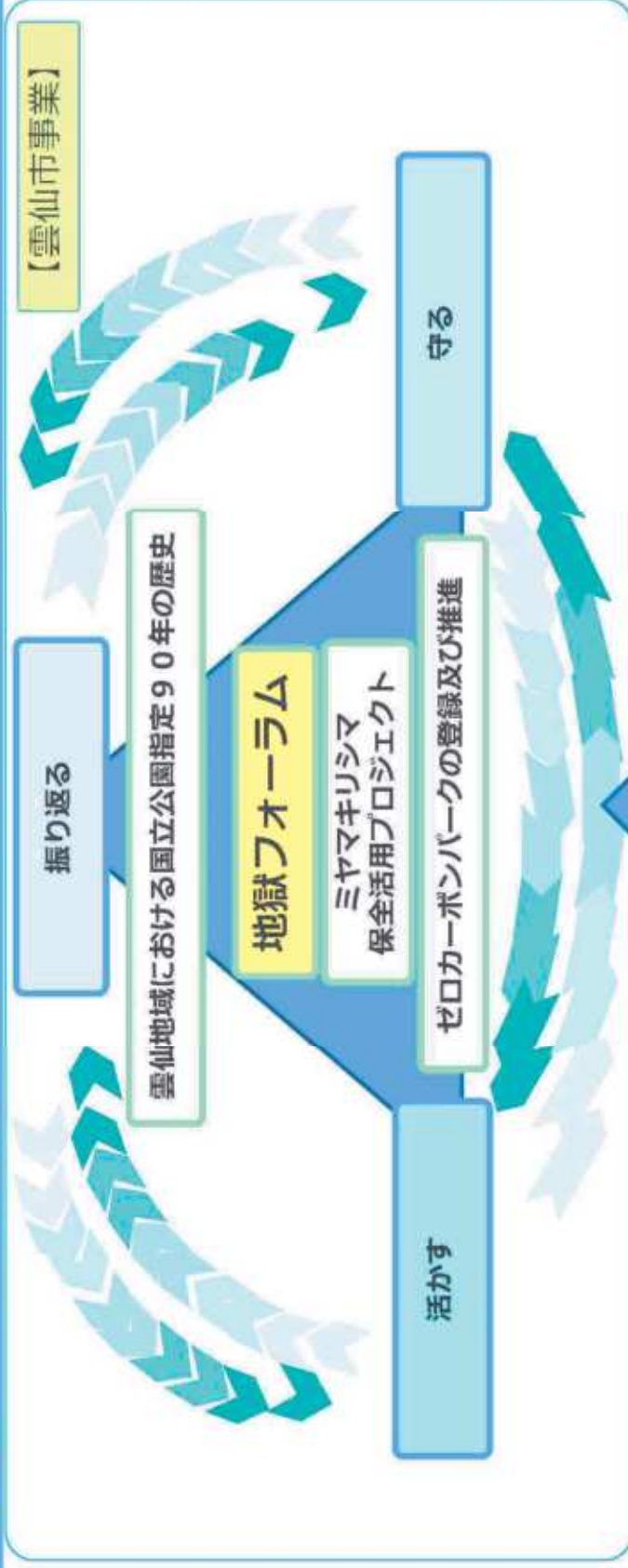
雲仙地獄の価値の再認識、
日本全国及び世界への発信
（地獄フォーラム）

国立公園100年に向けて…

○国立公園「雲仙」を訪れる訪問者が自然、歴史、文化等を知ることによって感動と気づきを体感し、雲仙地域がブランド力を高め、選ばれる観光地となり、地域が活性化することを目指す。



国立公園「雲仙」指定90周年事業 体制図



【国立公園「雲仙」指定90周年記念事業実行委員会】

- 会長：雲仙市長 副会長：島原市長、南島原市長
- 名誉会長：長崎県知事
- 委員：環境省、長崎県、島原半島観光連盟、島原半島ジオパーク協議会、島原観光ビューロー
雲仙観光局、南島原ひまわり観光協会

～国立公園指定100年に向けて関係機関が連携して取組を実施～



1. 雲仙地域における国立公園指定90年の歴史について

【インバウンドの先進地、雲仙を振り返り、体感する】

- 雲仙地域は国立公園34か所において外国人利用の歴史が古く、インバウンドの先進地。
- 国立公園指定当時、欧米人が見た風景の背景を知り、当時の感動を再認識する。
- 国立公園90年を迎え、時代とともに変化した雲仙地域を振り返り、未来へ紡ぐ。

【タイトル】

- 「欧米人が歩いた長崎から雲仙への道」企画展及び講演会

【目的】

- 国立公園指定に至った経緯、指定から現在までの歴史、当時の外国人の利用ルート、雲仙地域での過ごし方を知ることと雲仙が歩んできた歴史を振り返り100周年に向けた機運を高める。

【内容（予定）】

- 長崎から雲仙に至る道の研究者であるバークガフニ先生所蔵の古写真や絵葉書等を一般公開するとともに講演会を実施。
- バークガフニ先生の企画展及び講演会。

【開催時期及び場所】

- 小浜歴史資料館

企画展 令和6年3月1日（金）～13日（水）10～17時

*毎週火曜日は休館

講演会 令和6年3月1日（金）13～15時

- 雲仙観光ホテル

企画展 令和6年3月17日（日）～31日（日）10～17時

*3月21日（木）、27日（水）、28日（木）は休館

講演会 令和6年3月24日（日）

*国立公園「雲仙」指定90周年記念講演会の中で実施





1. 雲仙地域における国立公園指定90年の歴史について

【タイトル】

○雲仙の歴史に関する資料のデジタルアーカイブ化（電子化）及び総合企画展

【目的】

○国立公園指定前後、現在に至る90年の歴史を振り返るため、関係者、ホテル等の事業者、市民が所有する絵葉書、書籍、写真等を収集及び整理し、デジタルアーカイブ化を行い、とりまとめる。

【内容（予定）】

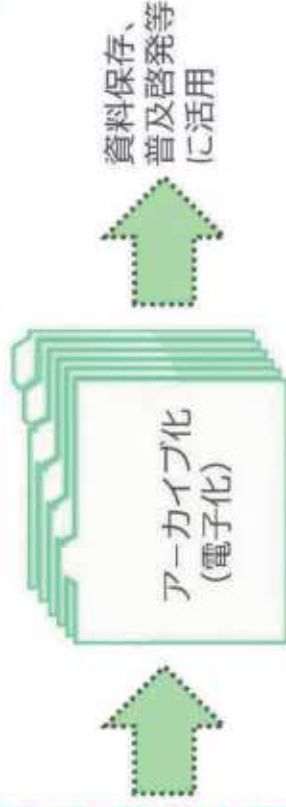
- 長崎から雲仙に至る道の研究者であるバークガフ二先生所蔵の古写真や絵葉書等の整理。
 - 元長崎県知事、元衆議院議員の故西岡竹次郎氏の資料の整理。
 - 市民、雲仙に訪れた観光客等からも収集を行い、提供のあった資料の整理。
 - 上記の資料についてアーカイブ化及びパネル作成を行い、市庁舎のデジタルサイネージで映写し、観光施設等へのパネル展示を行う。
 - また、総合企画展として雲仙観光ホテルと共同で実施する。
- 【総合企画展の場所及び時期】
- 雲仙観光ホテル
 - 令和6年の秋（1ヶ月間を予定）



雲仙観光ホテル



古写真、絵葉書等





2. ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト

【雲仙市の花、ミヤマキリシマをみんなで守り、活かす】

- ミヤマキリシマは九州地方の雲仙、霧島、九重等に自生。花の直径は2~3cm、樹高は0.5m~1m程度。
- 雲仙市の花であり、国立公園雲仙の各地（田代原、仁田峠、池の原、宝原）に群落を形成し観光資源（シンボル種）として重要である。
- ミヤマキリシマは日陰では生育できず、森林化になると衰退。
- 国立公園指定前後（昭和初期）は雲仙全体で2,635haの草原と880haのミヤマキリシマ群落があったが、現在は15~20haの草原、10~15haのミヤマキリシマ群落となっており、保全の危機。
- 保全にあたっては牛の放牧、下草刈りなど定期的な管理が必要。
- 放牧草原とミヤマキリシマが見られるのは田代原のみ。また、樹木の伐採等、生育環境改善を行った場合はミヤマキリシマの群落が再生する状況が確認されており、周辺のキャンプ場との連携が可能。
- このため、多様な主体と連携し、田代原においてミヤマキリシマの保全活動を行い、かつての群落面積（約35ha）まで回復を図り、他の群落地域への拡大も図る。



田代原の牧野景観
とミヤマキリシマ



ミヤマキリシマ
(雲仙市の花)





2. ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト

【タイトル】

○雲仙田代原ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト～雲仙いにしへの風景の再生～

【目的】

○ミヤマキリシマ群落の再生を図り、生物多様性の保全、利活用を図る。

【内容（予定）】

○ミヤマキリシマを覆っているアカマツ、灌木の伐採等の保全活動、搬出する材木の利活用を行う。

○企業、地元学校、長崎大学と連携したミヤマキリシマの現状、生態を学ぶ参加型の保全活動、サステナブルツアーの実施。

○関係機関協働で事業を行うための協議会の設置及び運営、企業等の協賛金の活用
協議会構成機関（案）：国、県、市、有識者、企業、民間団体等



田代原におけるミヤマキリシマ群落面積（現在10ha→10年後35ha）の拡大・再生



田代原におけるミヤマキリシマ群落面積（現在10ha→10年後35ha）の拡大・再生

保全活動に賛同を得た企業協賛金等



（仮称）雲仙ミヤマキリシマ
保全活用協議会

実施計画に伴い、関係機関が協働で実施



アカマツ等の伐採



伐採木の搬出



ミヤマキリシマ群落の再生へ



3. 地獄フォーラムの開催

【地獄の価値共有、Jigokuを世界に発信し、活かす】

- 日本は火山国。全国に地獄・地獄谷が存在するが、定義、呼び方、活用方法などが多様。
- ONSENと比べ、Jigokuの意味は外国人に正しく理解されていない。
- 雲仙は山岳信仰のほか、キリシタンの歴史があり、他の地域と比べ歴史的背景が特殊。
- 雲仙は地獄の恩恵を受け、その距離が近く、暮らしとともに地獄があることが特徴。
- 地獄を共通言語としてストーリー化し、日本・世界に発信。自然と共生しながら地域が形成。



雲仙地獄（雲仙天草国立公園）



登別地獄谷（支笏洞爺国立公園）

【タイトル】

○地獄フォーラム～地獄とともに暮らし、生きる～

【目的】

- 環境省、観光庁、日本温泉協会、地獄を有する関係自治体、雲仙地獄に関係がある有識者等と連携し、地獄の恩恵、価値魅力向上に向けた地獄フォーラムを開催する。

【内容（予定）】

- 全国及び九州の観光動向、インバウンド、雲仙地獄の恵みとともに共生の歴史を振り返る基調講演、他地域における地獄を活用した取組紹介、雲仙地獄の価値共有、魅力発信を含めたシンポジウム、分科会（テーマ案：火山と復興、地獄との共生）を開催し、地獄（Jigoku）の日本及び世界への発信を行う。

また、地元の食を活用したおもてなしを体感する交流会、エクスカーションとして湯けむりを活用した演出、雲仙地獄の特別コンテンツ等を行う。

【開催時期】

○令和7年1～2月



4. ゼロカーボンパークの登録及び推進

- 国立公園において先行して脱炭素化に取り組むエリアを「ゼロカーボンパーク」として推進。
- 脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックも含めてサステナブルな観光地づくりを実現するエリア。
- 現在、全国10の国立公園で登録されているが、雲仙エリアが登録されると九州初となる。



雲仙地獄における爛付けの取組



E-Bike



**ゼロカーボンパークに
行ってみよう!**

【タイトル】

○九州初のゼロカーボンパーク登録及び推進

【目的】

○雲仙温泉エリアは雲仙地獄の熱を利用した爛付け（自然の給湯器）の取組を昔から行っており、脱炭素、脱プラスチックの推進、地産地消に取り組む観光地として認知を図ることで高付加価値層も含めて多様な利用を図る。

【内容（予定）】

- 国立公園指定90周年である3月16日にゼロカーボンパーク登録を行い、3月24日の記念式典時にセレモニーを行う。
- ゼロカーボン登録に伴い、サステナブルツアーを実施することで、環境に配慮された観光地として、国立公園「雲仙」を広く発信する。
- 脱炭素の取組を体験する爛付けツアー、紅葉時期に仁田峠周辺において歩く利用、自転車利用を推進するサステナブルツアーのコンテンツ開発、普及啓発の実施。
- 2050年のカーボンニュートラル実現に向けて雲仙地域がゼロカーボンに向けた取組が加速するよう各主体が連携して取り組む。



今後のスケジュール（案）について

- 実行委員会主催の式典・シンポジウム（3/24）をキックオフとして1年間、切れ目なく事業を実施。
- 雲仙観光局が実施する観光再始動事業、観光庁モデル観光地事業とも連携して実施。

記念式典・事業に関する公表

事業内容	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和7年度以降の取組	国立公園100年に向けてのビジョン（案）
国立公園「雲仙」指定90周年事業実行委員会主催の記念式典・講演会		キックオフ 3/24														
雲仙地域における国立公園指定90年の歴史について		全国版 3/17-31							総合企画 （1ヶ月予定）						国立公園雲仙の価値の再認識、インバウンドコンテンツ実施	インバウンドコンテンツの増加、国立公園のファン拡大
ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト				イベント開催 協議会の設置								ミヤマキリシマ生息環境改善の実施			ミヤマキリシマ保全活用計画に基づく作業の継続	ミヤマキリシマの面積拡大、多様な主体との連携、資金及び人材の確保
地獄フォーラム													フォーラム、分科会等の開催		地獄のストーリー整理、全面の地獄地域との連携	ONSENのユネスコ無形文化遺産登録に関連付けたJigokuの価値向上
ゼロカーボンパーク登録及び推進			3/16登録						サステナブルツアーの開催						ゼロカーボンパークの取組推進	雲仙温泉地域全体としての脱炭素、脱プラ地域のブランド化、サステナブルツアーリズムの増加



○国立公園雲仙の保護と利用の好循環、ファン拡大、滞在時間及び観光消費額増加へ

参考：国立公園「雲仙」指定90周年記念事業概要

- 昭和9年3月16日に国立公園第1号として指定。令和6年で指定90周年。
- 環境省、雲仙市及び国立公園関係機関を中心に、90周年記念事業を実施する。
- 10年後の指定100周年等の契機も見据えた取組とする。

◆ 指定90周年記念式典・講演会

- 日時：令和6年3月24日(日) 13:00～15:30
主催：国立公園「雲仙」指定90周年記念事業実行委員会
場所：雲仙観光ホテル
内容：記念式典（13:00～13:50）
記念講演・ディスカッション（14:00～15:30）
- ・ 国立公園「雲仙」90年の歴史
 - ・ 国立公園「雲仙」の90年とこれから
 - ・ 国立公園「雲仙」の90年を、食材、料理を通して振り返る
 - ・ 国立公園指定90周年記念事業一覧紹介

◆ 併催イベント

- ・ 雲仙観光ホテルでパークガフ二先生から借用の絵葉書等の展示
雲仙天草国立公園写真パネルの展示（3月17日～31日）
- ・ 九州自然歩道ロングトレイル講演会（3月16日）
- ・ 温泉ガストロノミウオーキングin雲仙温泉（3月17日）

◆ その他の指定90周年記念事業

- 記念式典開催日から約1年間の間に実施
主催：実行委員会等、各関係機関等
内容：記念イベント、冠イベント、その他のPR・取組



令和6年3月～4月の主要行事予定について

●雲仙市立中学校卒業証書授与式

- 1 日 時 3月14日(木) ※時間は各学校計画による
2 場所・問い合わせ 市内各中学校

●雲仙市立小学校卒業証書授与式

- 1 日 時 3月19日(火) ※時間は各学校計画による
2 場所・問い合わせ 市内各小学校

●雲仙市立小学校 令和6年度入学式

- 1 日 時 4月10日(水)午前 ※時間は各学校計画による
2 場所・問い合わせ 市内各小学校

●雲仙市立中学校 令和6年度入学式

- 1 日 時 4月10日(水)午後 ※時間は各学校計画による
2 場所・問い合わせ 市内各中学校

●観櫻火宴

- 1 日 時 3月30日(土)午後6時～
2 問い合わせ 観櫻火宴実行委員会 090-1512-3956